

歴史講座

考古学が語る品川の歴史

期 間	平成 29 年 2 月 11 日～3 月 4 日（毎週土曜日 全 4 回）
時 間	14：00～16：00
会 場	講堂

〔事業趣旨〕

平成 29 年（2017）に発掘から 140 年を迎える大森貝塚を筆頭に、品川区内には縄文時代から江戸時代にいたるまで多種多様な遺跡が存在する。それらの遺跡では新しい地点での発掘調査やそれに伴う出土遺物によって、新たな研究成果が蓄積されてきているものの、その成果を一般に周知する機会は限られている。そこで、近年の調査・研究によって判明した事象を紹介し、品川区の考古学を再検討する講座を実施した。

〔講座内容〕

第 1 回：2 月 11 日（土） 受講者数 83 名

「大森貝塚を考える」

講 師：坂詰 秀一（立正大学名誉教授）

第 2 回：2 月 18 日（土） 受講者数 68 名

「品川区の大名墓と江戸文化」

講 師：松原 典明（石造文化財調査研究所代表）

第 3 回：2 月 25 日（土） 受講者数 66 名

「板碑からみた品川の中世」

講 師：村山 卓（埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査員）

第 4 回：3 月 4 日（土） 受講者数 79 名

「品川区の大名屋敷から見る江戸の生活」

講 師：中野 光将（品川歴史館学芸員）

延べ受講者数 296 名